



8月のクリスマス

特別企画

# アジア・シネマ・アンソロジー

アジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に

特別企画

福岡アジア文化賞 芸術・文化賞受賞者

プラープダー・ユン氏 市民フォーラム

通常上映

## アジアのドキュメンタリー

図書館収蔵のアジア各国のドキュメンタリー映画の特集



父の選択

ビッグドリアン

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

# アジア・シネマ・アンソロジー

アジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に

会期：10月20日(水)～10月31日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

助成：一般財団法人長瀬映像文化財団



※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

講演

24(日) 14:00～14:50

## 「福岡フィルムアーカイヴの重要性」

講師：石原香絵 (NPO法人映画保存協会 (FPS) 代表)



2001年、L.ジェフリー・セルズニック映画保存学校卒業。博士(アーカイブズ学)。国立公文書館認定アーキビスト。名古屋芸芸大学メディア造形学部非常勤講師。著書に『日本におけるフィルムアーカイヴ活動史』(美学出版 2018)。2019年、第13回上野紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞受賞。

※講演は有料で15時からの「ヴィレッジ・オブ・ホープ」とセット料金です。

※開場は開演の30分前。

21(木) 11:00 / 30(土) 14:00

## 私はガンディーを殺していない I Did Not Kill Gandhi

ヒンディー文学の教授ウッタム・チョウドリーは、大学を退職後認知症の兆候が現れる。彼は次第に「自分がガンディーを殺した」という妄想にとりつかれる。ウッタムの娘は知人の精神科医に相談する。医者は彼の妄想の原因は、子ども時代のトラウマにあると診断し、治療のために偽装裁判を提案する。

インド独立の父といわれるガンディーは、1948年狂信的なヒンドゥー教徒により殺害された。ガンディーは平和の象徴として知られているが、監督が本作に込めたメッセージは、現在のインドでガンディーの平和主義が忘れられようとしているのではないかという事だ。2006年アジアフォーカス・福岡映画祭で日本初公開され、第1回の福岡観客賞に輝いた傑作。



監督：ジャヌ・バルア  
出演：アヌバム P.ケール ウルラミー・マートインドカル  
2005年 / 35ミリ / カラー / 104分 / インド / 日本語・英語字幕付き

20(水) 14:00 / 24(日) 11:00 / 28(木) 11:00

## 土曜の午後

Saturday Afternoon

バングラデシュの首都ダッカ。あるレストランがイスラム教過激派に占拠される。観光客などを人質にとった過激派たちは、イスラム教徒でないものを殺害していく。2016年7月に実際に起きたテロ事件を題材とした映画。実際の事件では日本人7人を含む22人が殺害された。ショッキングな内容を緊迫感あふれる映像で描き、アジアフォーカス・福岡国際映画祭で熊本賞を受賞。



監督：モストファ・サルワル・ファルキ  
出演：シャヒド・ハサン  
ホロムブドロ・チャテルジー  
2019年 / デジタル / カラー / 86分  
バングラデシュ・ドイツ  
日本語・英語字幕付き

21(木) 14:00 / 23(土) 11:00 / 31(日) 11:00

## 8月のクリスマス

Christmas in August

ジョンウォンはソウルで小さな写真館を営んでいた。ある日、駐車違反の取り締まりをしているタリムは、違反車の写真の拡大を依頼に写真館を訪れる。二人は会話を交わすうちに好意を持つ。しかしジョンウォンは病気で、タリムになかなか打ち明けられなかった。「すべての人の心を動かす傑作」と大評判となった、90年代を代表する韓国映画の傑作。興行的にも大ヒットとなった。



監督：ホ・ジノ  
出演：ハン・ソッキュ  
シム・ウナ  
1998年 / 35ミリ / カラー / 97分  
韓国 / 日本語・英語字幕付き

22(金) 11:00 / 30(土) 11:00

## ルオマは17歳

When Ruoma Was Seventeen

ルオマは中国・雲南省に住むハニ族の17歳の少女。街で暮らす青年アミンは、民族衣装を着たルオマと観光客の写真を撮る商売を思いつく。商売は繁盛し、ルオマは都会に行くことを夢見る。無垢で美しいルオマを演じたのは実際のハニ族の少女で、これが映画初出演。本作のもう一つの主演は雲南省紅河の棚田で、本作は棚田を世界遺産に登録するためのPRを兼ねている。そして棚田は見事世界遺産に登録された。



監督：チアン・チアルイ  
出演：リー・ミン  
ヤン・チーカン  
2002年 / 35ミリ / カラー / 90分  
中国 / 日本語字幕付き

23(土) 14:00 / 29(金) 14:00

## アオザイ

The White Silk Dress

1954年、フランス植民地時代のベトナム。役人の召使であるゲーは、同じく使用人のザンと結婚する。植民地時代が終わり、二人は川のほとりでジジミをとって生活する。二人には4人の娘が生まれるのだった。アオザイはベトナムの女性のアイデンティティであり、本作ではベトナムの強靱な強さを象徴する。釜山国際映画祭、アジアフォーカス・福岡国際映画祭で共に観客賞を受賞している。



監督：リュウ・フィン・リュウ  
出演：グオック・カイン  
チュン・ゴック・アイン  
2006年 / 35ミリ / カラー / 143分  
ベトナム / 日本語・英語字幕付き

22(金) 14:00 / 27(水) 14:00 / 31(日) 14:00

## 山嶺の女王クルマンジャン

Kurmanjan Datka Queen of the Mountains

19世紀初頭のキルギスには40を超える部族があった。モンゴシ族の娘クルマンジャンは、親が決めた結婚相手を嫌い、族長アルムベクと結婚する。アルムベクはキルギス統一の夢を抱いていた。クルマンジャン・ダタカ(1811-1907)は、キルギスの「国の母」といわれる歴史上の人物。本作は彼女の生誕200年を記念して、国家的プロジェクトで製作された歴史大作であり、アジアフォーカス・福岡国際映画祭で熊本賞を受賞した。



監督：サディック・シェル・ニヤース  
出演：エリナ・アバイ・キズィ  
ナジラ・マクベトワ  
2014年 / デジタル / カラー / 136分  
キルギスタン / 日本語・英語字幕付き

24(日) 15:00 / 28(木) 14:00 / 29(金) 11:00

## ヴィレッジ・オブ・ホープ

Village of Hope

若い兵士ソーンは除隊の前に休暇を取り故郷の村に帰ってくる。家には祖母や親戚たちが住んでいる。父親は借金の末破産して村にはいない。母は家を出ており、兄も行方不明。親戚たちもみな苦しい生活をしており、家に帰ってもソーンは孤独だった。タイトルとは裏腹の現実。ある家族を通して現代の村が抱える問題を描いた作品。本作はタイのフィルムアーカイヴに「タイの映画遺産」として保存されている。



監督：ブンソン・ナークブー  
出演：グライソーン・ナークブー  
トゥーブ・ナークブー  
2013年 / デジタル / カラー / 72分  
タイ / 日本語字幕付き

通常上映

# アジアのドキュメンタリー

図書館収蔵のアジア各国のドキュメンタリー映画の特集

会期：10月3日(日)～10月17日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

6(水) 14:00 / 9(土) 14:00

## ここに陽はのぼる～東ティモール独立への道

Where the Sun Rises



監督：グレース・バン  
2006年/デジタル/カラー/78分  
東ティモール＝シンガポール  
日本語・英語字幕付き

2002年にインドネシアから独立した東ティモールの、独立に至る過程を描いたドキュメンタリー映画。映画のガイド役を務めるのは、東ティモール初代大統領のシャナナ・グスマンである。映画はグスマン大統領の祖国に捧げる詩から始まる。まだ戦場の傷跡が残る街や、インドネシア軍による虐殺の後遺症に苦しむ人々などが描かれる。

7(木) 11:00 / 16(土) 14:00

## 裸足でヘラートまで

Barefoot to Herat



監督：マズド・マズディ  
2002年/デジタル/カラー/65分  
イラン/日本語・英語字幕付き

アメリカ政府は、2001年ニューヨークでのテロ事件の犯人をアルカイダと断定、首謀者のビンラディンを匿うアフガニスタンに対して空爆を開始し、戦争状態に入る。監督は2001年11月から翌年2月までに3度アフガニスタンを訪れ、難民キャンプの実情を記録している。それは絶望に打ちひしがれるアフガニスタンの現状を世界に伝えたいという監督の思いなのである。

3(日) 14:00 / 14(木) 11:00

## ビルマ・ストーリーブック

Burma Storybook



監督：ペテル・ロム  
2017年/デジタル/カラー/81分  
ミャンマー＝ノルウェー＝オランダ  
日本語・英語字幕付き

マウン・アウン・プインは反体制的な詩を作り、何度も拘束され投獄されてきた。本作は、70歳近くになりパーキンソン病を患うプインに密着したドキュメンタリーである。手が動かないため彼の妻が詩を口述筆記する。彼の日常と、ミャンマーが民主化への向かう希望が映画には描かれる。随所にミャンマーの美しい映像が挿入され、プインの詩が多くの人に愛されている様子が描かれる。

6(水) 14:00 / 9(土) 14:00

## ここに陽はのぼる～東ティモール独立への道

Where the Sun Rises



監督：グレース・バン  
2006年/デジタル/カラー/78分  
東ティモール＝シンガポール  
日本語・英語字幕付き

2002年にインドネシアから独立した東ティモールの、独立に至る過程を描いたドキュメンタリー映画。映画のガイド役を務めるのは、東ティモール初代大統領のシャナナ・グスマンである。映画はグスマン大統領の祖国に捧げる詩から始まる。まだ戦場の傷跡が残る街や、インドネシア軍による虐殺の後遺症に苦しむ人々などが描かれる。

7(木) 11:00 / 16(土) 14:00

## 裸足でヘラートまで

Barefoot to Herat



監督：マズド・マズディ  
2002年/デジタル/カラー/65分  
イラン/日本語・英語字幕付き

アメリカ政府は、2001年ニューヨークでのテロ事件の犯人をアルカイダと断定、首謀者のビンラディンを匿うアフガニスタンに対して空爆を開始し、戦争状態に入る。監督は2001年11月から翌年2月までに3度アフガニスタンを訪れ、難民キャンプの実情を記録している。それは絶望に打ちひしがれるアフガニスタンの現状を世界に伝えたいという監督の思いなのである。

7(木) 14:00 / 15(金) 14:00

## 平和の行進

An Army of Peace



監督：チェン・ダラブド・コサル  
1997年/デジタル/カラー/52分  
カンボジア/日本語・英語字幕付き

カンボジアで1997年3月から4月にかけて行われた「ダンマヤトラ」を記録したドキュメンタリー。「ダンマヤトラ」とは、カンボジア仏教界の最長老マハ・ゴーサナンダ師が多くの僧侶と共に戦地を巡礼したもの。かつてクメール・ルージュの統治下にあった人々との交流が描かれている。

8(金) 11:00 / 17(日) 11:00

## 国境に生きる～難民キャンプの小さな監督たち～

Life on the Border



監督：ハゼム・ホテイダ、他  
2015年/デジタル/カラー/73分  
イラク/日本語・英語字幕付き

2014年、イラクとシリアのクルド人自治区で過激派組織ISISとの戦闘が起き、多くのクルド人難民が生まれた。この映画はイラクとシリアの難民キャンプに暮らす子どもたち8人に、彼らの今を映画として作ってもらったものである。プロデューサーは国際的に知られるクルド人監督のバフマン・ゴバディである。

8(金) 14:00 / 17(日) 14:00

## ジャンプ! ボーイズ

Jump! Boys



監督：リン・ユウシェン  
2004年/35ミリ/カラー/84分  
台湾/日本語・英語字幕付き

台湾の宜蘭県羅東鎮公正国民小学校の体操部に所属する子どもたちを描いたドキュメンタリー。登場するのは6歳から8歳の7人の少年で、監督の兄のリン・ユウシンがコーチをしている。つらく厳しい練習の日々、監督はなぜそんなに頑張るのかと少年たちに問いかける。屈託のない彼らの姿が生き生きと描かれる。

9(土) 11:00 / 13(水) 14:00

## 子どもたちは死を恐れないが、お化けは怖がる

Children Are Not Afraid of Death, Children Are Afraid of Ghosts



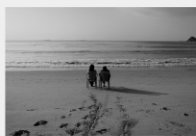
監督：ロン・グアン・ロン  
2016年/デジタル/カラー/85分  
中国/日本語・英語字幕付き

2015年、中国の貴州省の村で4人の子どもが農薬を飲んで自殺する事件が起きる。3人の子を持つ監督は事件に興味を持ち、村に取材に出かける。結果、監督の取材は当局に目を付けられ、撮影の中止だけでなく撮影データも消去される。監督はわずかに残ったデータをもとに取材を再現する作品を完成させ、子どもたちの自殺の原因に迫る。中国の多くの農村で起る留守児童の問題に迫る。

10(日) 11:00 / 14(木) 14:00

## 父の選択

My Father's Choice



監督：ユエン・ヤン・ティン  
2017年/デジタル/カラー/80分  
中国＝オランダ  
日本語・英語字幕付き

監督の父親は文化大革命の時期、中国から香港にやってくる。香港での生活は悪くなかったが、父親はオランダへの移住を決意する。そして80歳となった父親は香港に戻って生活している。父親は多くを語らないが、監督は父親の選択に、中国の歴史と家族への思いが大きく関わっていることを明らかにしていく。

10(日) 14:00 / 15(金) 11:00

## Ha Ha 上海

Ha Ha Shanghai



監督：クリスティン・チョイ  
2001年/デジタル/カラー/76分  
香港＝アメリカ  
日本語・英語字幕付き

監督の一家は1962年まで、上海の旧フランス租界にあるマンションで暮らしていた。そのマンションは母親のものだった。今はアメリカに住む監督は、思い出のマンションを再び手に入れようとするが、マンションの所有者が誰なのかまったくわからない。変わりゆく上海の街並みと共に、現代中国の不思議を描いた秀逸なドキュメンタリー。

13(水) 11:00 / 16(土) 11:00

## ビッグ・ドリアン

The Big Durian



監督：アミール・ムハマド  
2003年/デジタル/カラー/75分  
マレーシア/日本語・英語字幕付き

1987年、クアラルンプールのチャイナタウンで、アダムという下士官が銃を乱射するという事件が起きる。監督は事件の目撃者たちにインタビューし、何が彼を犯行に駆り立てたのか、そしてその背景にある民族間の対立を描き出す。監督は本作をメディアリテラシーの教材として作成しており、インタビューの中に俳優が混じっている点の特徴。その完成度の高さから多くの映画祭に招待された。



1 金		休 映 日
2 土	福岡アジア文化賞 芸術・文化賞受賞者 ブラープダー・ユン氏 市民フォーラム	
3 日		14:00 ビルマ・ストーリーブック
4 月		休 館 日
5 火		休 映 日
6 水		14:00 ここに開はのぼる〜東ティモール独立への道
7 木	11:00 裸足でヘラートまで	14:00 平和の行進
8 金	11:00 国境に生きる〜難民キャンプの小さな監督たち〜	14:00 ジャンプ!ボーイズ
9 土	11:00 子どもたちは死を恐れないが、お化けは怖がる	14:00 ここに開はのぼる〜東ティモール独立への道
10 日	11:00 父の選択	14:00 Ha Ha 上海
11 月		休 館 日
12 火		休 映 日
13 水	11:00 ビッグ・ドリアン	14:00 子どもたちは死を恐れないが、お化けは怖がる
14 木	11:00 ビルマ・ストーリーブック	14:00 父の選択
15 金	11:00 Ha Ha 上海	14:00 平和の行進
16 土	11:00 ビッグ・ドリアン	14:00 裸足でヘラートまで
17 日	11:00 国境に生きる〜難民キャンプの小さな監督たち〜	14:00 ジャンプ!ボーイズ
18 月		休 館 日
19 火		休 映 日
20 水		14:00 土曜の午後
21 木	11:00 私はガンディーを殺していない	14:00 8月のクリスマス
22 金	11:00 ルオマは17歳	14:00 山嶺の女王クルマンジャン
23 土	11:00 8月のクリスマス	14:00 アオザイ
24 日	11:00 土曜の午後	14:00 講演 15:00 ヴィレッジ・オブ・ホープ
25 月		休 館 日
26 火		休 映 日
27 水		14:00 山嶺の女王クルマンジャン
28 木	11:00 土曜の午後	14:00 ヴィレッジ・オブ・ホープ
29 金	11:00 ヴィレッジ・オブ・ホープ	14:00 アオザイ
30 土	11:00 ルオマは17歳	14:00 私はガンディーを殺していない
31 日	11:00 8月のクリスマス	14:00 山嶺の女王クルマンジャン

アジアのドキュメンタリー

アジア・シネマ・アンソロジー

### 特別企画



## 福岡アジア文化賞 芸術・文化賞受賞者 ブラープダー・ユン氏 市民フォーラム

会期: 10月2日(土)

観覧料: 無料(要申し込み)

主催: 福岡市(福岡アジア文化賞委員会) / (公財)福岡よかトピア国際交流財団  
福岡市総合図書館 / 映像ホール・シネラ実行委員会

※申し込みは9月29日(水)で締め切り。

※プレイベント・第一部・第二部それぞれ個別に申し込みが必要です。申し込みはQRコードから。

QRコードからお申し込み出来ない方は、福岡市総合図書館3階 文学・映像課にて来館による申し込みを受け付けます。ご利用ください。

※各回入替制。開場は、プレイベント11時30分、第一部14時15分、第二部15時45分。

※お問い合わせ先: 31acprize-pl@convention.co.jp  
(お問い合わせはメールでお願いいたします。)

福岡アジア文化賞HP  
fukuoka-prize.org/events/



プレイベント 12:00~13:50

### 『地球で最後のふたり』映画上映

監督・脚本: ペンエーグ・ラッタナルアーン  
脚本: ブラープダー・ユン

出演: 浅野忠信 シニター・ブンヤサク

2003年 / 35ミリ / 107分 / タイ・日本・オランダ・フランス・シンガポール  
日本語字幕付き

第一部 講演・対談 14:30~15:30

### タイ作家が表象した日本と日本人

基調講演: ブラープダー・ユン ※オンラインによる出演

出演者: ブラープダー・ユン、宇戸清治(東京外国語大学名誉教授)

久保田裕子(福岡教育大学教授)

第二部 文学講座 16:00~17:10

### 世界文学としてのタイ文学

出演者: ブラープダー・ユン ※オンラインによる出演

宇戸清治、久保田裕子、福富渉(タイ文学研究者)

※福富氏はオンラインによる出演

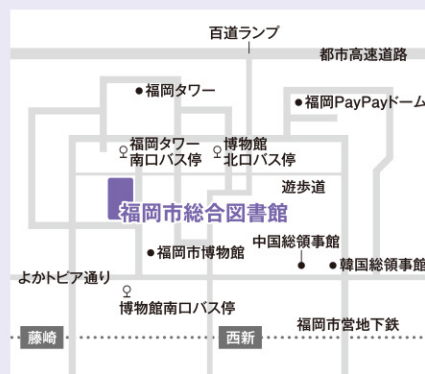
## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表): tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



#### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】  
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分  
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。